



国立大学法人

帯広畜産大学の取り組み

平成28年5月

グローバル教育研究の推進

産業動物臨床施設群の完成

国際安全衛生基準適応の
実習環境による人材育成を推進

共同研究による新商品
(湯種全粒粉食パン、WA(わ)ドーナツ)を開発

H A C C P 認定人材育成を推進

本学農業サークル「あぐりとかち」が農林水産大臣賞を受賞

本学獣医学課程5年西原佳歩里さんが
第1種放射線取扱主任者試験に合格

馬とのふれあい活動

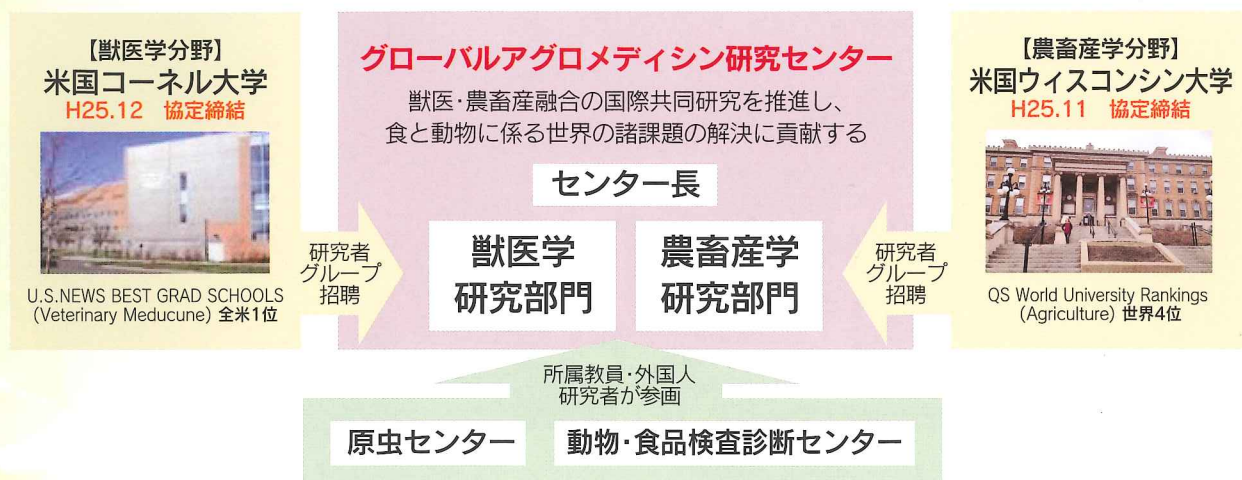
S I L O (サイロ) 事業で「ジングスカン会議」を開催



帯広畜産大学は、「食を支え、暮らしを守る」人材の育成を通じて、地域及び国際社会に貢献することを目指し、農畜産業及びその関連分野の専門知識・技術の教育研究を通して、国際性のある人材育成を目指しています。ここでは、平成27年度の主な取り組みを紹介しますが、これらの取り組みにより、平成28年度の本学の運営費交付金の分配率は「地域に貢献する」55大学のうちのトップの118.6%の分配率(9大学)となり高い評価を受けました。

グローバル教育研究の推進

4月には、食と動物に係る世界の諸課題の解決に貢献することを目的とする「グローバルアグロメディシン研究センター」を設置し、世界トップレベルの米国コーネル大学及び米国ウィスコンシン大学との国際共同研究、招聘外国人教員による特別講義を実施したほか、両大学へ教員を派遣し、本学への特色ある教育プログラムの導入や新たな国際共同研究を推進しています。



産業動物臨床施設群の完成

10月には、動物用CT、MRIなど高度な医療機器を備えた産業動物臨床施設群が完成し、国際的・社会的なリーダーとして活躍する獣医師の養成環境が整備され、今後、我が国の獣医学教育の水準向上を図るため、北海道大学との共同獣医学課程において、欧州獣医学教育認証を取得することを目指します。



完成した産業動物臨床施設群

国際安全衛生基準適応の実習環境による人材育成を推進

畜産フィールド科学センターでは、世界最高水準の国際安全基準認証(FSSC22000)を取得した乳製品工場の実績に基づき、同施設を活用したHACCP講習など人材育成を推進するとともに、食品加工事業所のHACCP導入支援を行い、平成27年度には3事業所が北海道HACCPの認証を受けました。また、地域連携推進センターでは、インキュベーションオフィスに入居する食関連企業の数を増加させ、実践的な共同研究を推進するとともに、企業の実務家教員による実践的な講義・実習を行っています。



共同研究による新商品 (湯種全粒粉食パン、WA(わ)ドーナツ)を開発

十勝産小麦を原料としたパンの
高品質化を目的として、本学山内宏
昭教授と(株)満寿屋商店との共同
研究により、4月には本学大学院修
士課程1年の松下耕基さんと満寿
屋商店の職員により「湯種全粒粉食
パン」を商品化し、9月には、松下耕
基さんと畜産科学課程4年の寺山
采花さん及び満寿屋商店の職員に
より小麦に大量の水を加え、おかゆ
のような状態にして炊いたものを
製パンに使用する「炊き種製法」に
より新食感のドーナツを開発し、商
品化しました。



湯種全粒粉食パンの記者発表



本学農業サークル「あぐりとかち」が 農林水産大臣賞を受賞

東京六本木ヒルズで行われた農林水産省主催の「食と農林漁業大
学生アワード2015」で「あぐりとかち」が、地元企業、農家の協力を得
て、各大学の農業サークルに参加している道外大学生16名を招い
て、初めて取り組んだ「十勝農業合宿ツアー」や10月から12月までの
月2回、帯広の飲食店
の店舗を借り、自分
たちが考案した料理
を提供した「サイエ
ンス農(あぐり)カ
フェ」など十勝の農
業の魅力を発表し、
道内大学では初めて
となる農林水産大臣
賞を受賞しました。



「とかち」のポーズをとる参加学生とあぐりとかちのメンバー

馬とのふれあい活動

本学は、「馬介在活動室」を設置して、馬術部、「うまぶ」の協力を得
ながら、子供向け乗馬体験、保育園児の乗馬体験、障害乗馬ヘルパー
講習、介護付有料老人ホームへの出張乗馬体験などを実施しました。
10月には、今年で3回目となる「馬フォーラム」を開催し、多くの市民
が馬とのふれあい
を楽しんでいまし
た。また、障害が
い者向け乗馬体験
を恒常的に年間13回
実施するなど、「馬
に係る教育研究活
動及び馬介在の社
会貢献活動」を推進
しています。



馬フォーラムで「うまぶ」が流鏝馬(やぶさめ)を披露

HACCP認定人材育成を推進

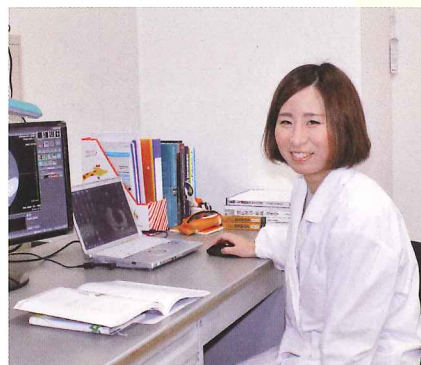
地域連携推進センター食品安全マネジメントシステム推進室は、
食品製造業界で急速に普及しているISO22000やFSSC22000等の
国際標準の食品安全マネジメントシステムに関する実践的教育モデ
ルを進めるとともに、それらの資格と運営が出来るグローバル人材
育成を推進しています。社会人向け「HACCPシステム構築3日間研
修」、「HACCP対応設備
セミナー」、大学院生に
対する「HACCPシス
テム構築特訓コース」な
どの研修を実施し、修了生
のフォローアップを通
してHACCPシステム構
築の支援を展開してい
ます。



乳製品工場での実習の様子

本学獣医学課程5年西原佳歩里さんが 第1種放射線取扱主任者試験に合格

この第1種放射線取扱主任者は、原子力規制委員会が与える国家
資格であり、高線量放射線治療施設等では、この資格者の配置が義務
づけられています。この国家試験の全国合格率は、例年30%程度で
あり、受験者の多くは
原子力発電所関連の
放射線業務従事者、放
射線科の医師、大学教
員であり、難易度が高
い資格といわれてい
ます。本学での学部学
生の合格は初めてで
あり、しかも1回目の
受験での合格は快挙
と言えます。



喜びを語る西原さん

S I L O (サイロ) 事業で 「ジンギスカン会議」を開催

本学の学生が中心となって企業や市民とまちなか活性化に取り組
む「十勝カレッジSILO(サイロ)」の主催で、帯広中央公園(帯広市内)
において、十勝で多くの市民に親しまれている、美味しいジンギスカ
ン店や焼き肉店があることを全国にアピールし、ジンギスカンを通
して学生や市民、企業、生産者が交流する初めての「ジンギスカン会
議」を8月に開催しま
した。多くの市民が参
加し、14店舗自慢の
ジンギスカンを食べ
比べながら、交流を深
めていました。この開
催に当たっては、本学
学生が出店依頼など
準備を進めました。



会場はジンギスカンの臭いと笑い声で包まれました

学長からのメッセージ

帯広畜産大学長 奥田 潔

本学は、日本の食料生産の中心地として「生産から消費まで(farm to table)」一貫した環境が揃う十勝・帯広に位置し、生命、食料、環境をテーマに、農学、畜産科学、獣医学に関する教育研究を推進する我が国唯一の国立農学系単科大学です。そのため全国各地から目的意識の高い学生が集まっています。それらの学生に対し、即戦力となる人材育成のため実学を重視した教育を徹底するとともに、世界トップレベルにある米国の大学とのグローバル教育研究により世界水準の教育を推進します。また、地域連携推進センターインキュベーションオフィスに入居している企業(8社)と連携し、実務家教員による実践的な実習等の実施、世界最高水準の国際安全基準認証(FSSC22000)を取得した実習環境による人材育成など、企業等社会のニーズに即した人材育成を推進しています。さらに本学グローバル化教育としてJICAの青年海外協力隊派遣事業など、国際連携、地域連携、企業連携による教育・研究を進め、地域および国際社会に貢献しています。



帯広畜産大学の概要

大学の沿革

昭和16年 4月	帯広高等獣医学校
昭和24年 5月	帯広畜産大学
平成16年 4月	国立大学法人帯広畜産大学
	畜産学部 (共同獣医学課程、畜産科学課程)
	大学院畜産学研究科 (修士課程、博士前期・後期課程)

役員・教職員数

※平成28年5月1日現在、()は非常勤で内数

役員	6	(3)
教員	131	
事務・技術等職員	93	
合計	230	(3)

学生数

※平成28年5月1日現在

	男	女	計
学部	517	661	1,178
大学院 (修士・博士前期)	67	48	115
(博士後期)	15	10	25
別科	25	9	34
合計	624	728	1,352

留学生数

※平成28年5月1日現在

	男	女	計
22カ国から	35	34	69

今春卒業した学生の就職率は4月1日現在、昨年同様98.8%となり、安定した高就職率を維持しております。

本学では、昨年度就職ガイダンスを23回、企業個別講演会を32回、獣医を対象とした合同説明会を1回、本州の企業も参加する合同企業説明会(参加企業106社)を3月に2日間、実施しました。またハローワーク及びジョブカフェと連携して毎月就職の個別面談を実施し、就職活動を支援しています。

平成27年度 卒業生の進路

区分	平成25年度	平成26年度	平成27年度
卒業	241	255	249
就職	155	170	171
進学	60	58	57
自営	10	10	7
その他	16	17	14

平成27年度 卒業生の就職先

区分	平成25年度	平成26年度	平成27年度
農業	12	18	12
建設業	0	1	1
食品・飼料等	25	33	29
化学工業	4	2	1
機械等	3	1	0
出版・印刷	1	0	0
その他	1	3	0
運輸・通信業	1	1	1
卸・小売業	11	20	20
金融・保険業	0	8	12
医療保険業	13	11	2
教育	8	5	6
その他	21	17	33
公務員	15	27	32
情報産業	1	1	5
農林団体	32	22	17
上記以外	7	0	0
合計	155	170	171

帯広畜産大学広報室

〒080-8555 北海道帯広市稲田町西2線11番地 TEL.(0155)49-5228 / FAX.(0155)49-5229

mail kouhou@obihiro.ac.jp